

# ステンレス製床板用グレーチング 歩行用 FB

## ●限界スパン表

型 式	emainバーの寸法mm	emainバー ピッチmm	質 量 kg/m <sup>2</sup>	許 容 たわみ 限界スパンmm	設 計 荷 重		
					3.5KN/m <sup>2</sup> (357kgf/m <sup>2</sup> )	5.0KN/m <sup>2</sup> (510kgf/m <sup>2</sup> )	限界スパンmm たわみmm
<b>FB30-20</b>	FB20×4		25.6	1/300	1070	3.5	950 3.1
				1/500	900	1.7	800 1.6
<b>FB30-25</b>	FB25×4		31.4	1/300	1340	4.4	1190 3.9
				1/500	1130	2.2	1000 1.9
<b>FB30-32</b>	FB32×4		40	1/300	1720	5.7	1530 5.0
				1/500	1450	2.9	1290 2.6
<b>FB30-38</b>	FB38×4		46.8	1/300	2040	6.7	1810 5.9
				1/500	1720	3.4	1530 3.0

❖たわみ1/500(人が歩行時に不安を感じないたわみ)人の歩行の頻度が多い場所。

❖たわみ1/300(人が歩行時に多少不安を感じるたわみ)あまり人が歩行しない場所。

❖限界スパンは使用する諸条件によって異なりますので、あくまで上記の1/500・1/300は参考です。

## ●歩行仕様

※9.80665N=1kgfにて計算

設置場所	荷重条件	荷 重
<b>歩 行</b> 	等分布	3.5kN/m <sup>2</sup> (約357kgf/m <sup>2</sup> )

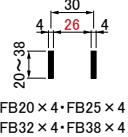
※

建築基準法施行令第85条  
(い)の欄(5)その他の場合の  
数値を適応。

詳細は資料編21-44ページ参照。

## ●メインバーの詳細

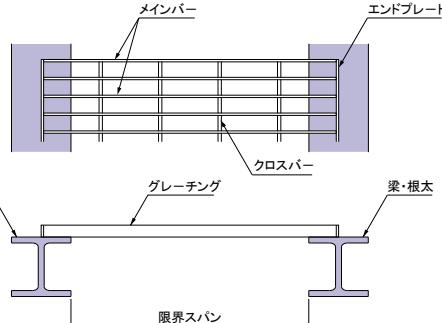
ノンスリップタイプも製作できます。



FB20×4・FB25×4  
FB32×4・FB38×4

## ●備 者

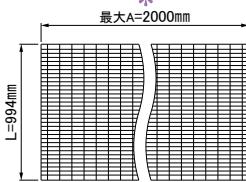
1.床用グレーチングは、基本的にメインバーの両端部に梁・根太等の受けを必要とし、梁・根太等の支間は各グレーチングの限界スパン値を越えないようにしてください。



2.グレーチング1枚あたりの  
最大寸法は、

\*2000mm×994mm以内に抑えて  
ください。

3.グレーチングの運搬時・敷き込  
み時のグレーチング質量を考慮  
してください。



(質量は●限界スパン表参照)

4.グレーチングは、蓋1枚あたり4ヶ所、クリップ等にて固定してください。  
(7-9ページ 固定例 参照)

## ●経済的寸法について

普通目ピッチ@30(H=20-25-32-38)

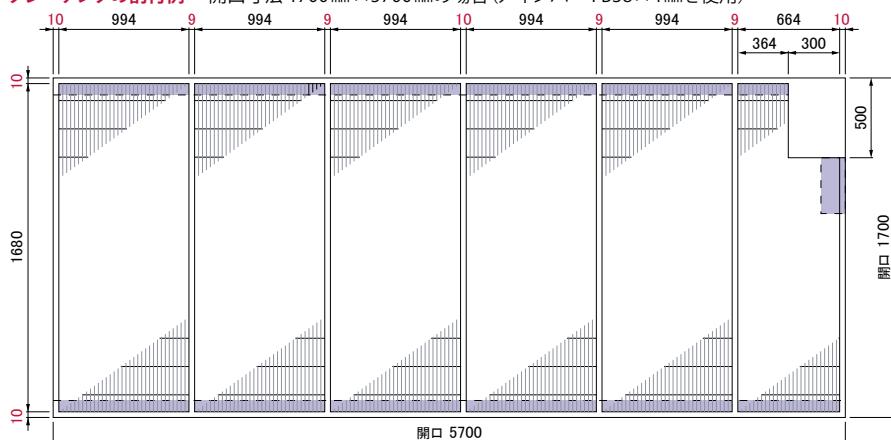
- 1.グレーチングのL寸法は、経済的寸法のL=994または、484を多くご使用ください。
- 2.その他のL寸法とする場合は、メインバー目取表の目取りの良い寸法としてください。
- 3.L寸法が標準以下となる場合は、L=394を最低寸法の目安としてください。
- 4.グレーチングとグレーチングの間のクリア(スキマ)にて調節してください。(クリア6mm~25mm)
- 5.A寸法については、A=1000,A=1500,A=2000が経済的です。



## ●メインバー目取表

メインバーの本数／本	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
メインバーの幅/Lmm	394	424	454	484	514	544	574	604	634	664	694	724	754	784	814	844	874	904	934	964	994

## グレーチングの割付例 開口寸法 1700 mm × 5700 mmの場合(メインバー FB38×4 mmを使用)



グレーチングを上記のように効率の良い寸法にし  
両端のクリアは10mm程度、  
グレーチングとグレーチングの間のクリアは均等に  
振り分けてください。

グレーチングの片側の標準受幅は、50mm程度を  
お勧めいたします。  
中間の受材の幅は100mm以上をご使用ください。

部は受けが必要箇所